

News Release

2020年2月13日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2020 年 2 月 12 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、欧州でのさらなる投資で電気自動車用電池材料のグローバルリーダーとしての地位を強化

- 欧州における正極材の生産拠点として独シュヴァルツハイデを発表
- ドイツおよびフィンランドの電池材料工場では、業界をリードするエネルギーミックスを活用し、バリューチェーン全体で CO₂ 排出量を削減

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は 2020 年 2 月 12 日、欧州の電気自動車(EV)バリューチェーンを支援するための多段階投資計画の一環として、ドイツシュヴァルツハイデに電池材料の新たな生産拠点を設けることを発表しました。最新鋭の工場では正極材(CAM)を製造し、年間約 40 万台の EV を供給できる規模の初期生産能力を有します。BASF の革新的な正極材により電池の性能を向上させ、環境に優しい e-モビリティの成功を促進します。

シュヴァルツハイデ工場の増設可能な設計およびインフラにより、迅速な生産能力の向上が可能になり、BASF は欧州の EV 市場で高まる顧客の需要に応えることができます。シュヴァルツハイデ工場では、既に発表しているフィンランドのハルヤヴァルタの工場で作成した前駆体(PCAM)を使用します。両工場の操業開始は 2022 年を予定しています。

BASF の触媒事業本部プレジデントである Dr. ペーター・シューマッハーは次のように述べています。「フィンランドおよびドイツでの工場設置により、お客様のニーズに適したハイ・ニッケル系正極材を、欧州にあるお客様の製造施設に隣接した地域から、安定的に供給できるようになります。」

フィンランドとドイツでの投資により、BASF は現在の主要市場であるアジア、米国、欧州地域において、現地生産能力を持つ初の正極材サプライヤーとなります。BASF は、

ベースメタル、特にニッケルやコバルトの確保、前駆体の製造、正極材の製造を同一域内で行えるようになり、信頼性と持続性のある、欧州をベースとしたサプライチェーンを有するリーディングサプライヤーとなります。

シュヴァルツハイデの拠点では、エネルギー効率の高いガスおよび蒸気タービン発電プラントを使用しており、現在、環境効率をさらに高めるために近代化を進めています。電池材料の工場が稼働するまでの期間に、再生可能エネルギーとの統合も予定しています。また、ハルヤヴァルタ工場では、水力、風力、バイオマス発電などの再生可能エネルギー資源を使用します。こうした有利なエネルギーミックスにより、CO₂フットプリントが非常に低い正極材の提供が可能になります。

フィンランドのハルヤヴァルタ工場、およびドイツのシュヴァルツハイデ工場への投資は、欧州の電池生産バリューチェーンに向けた欧州委員会の協議事項に対するBASFの支援を強化するものであり、また、EU国家援助規制に基づき2019年12月9日に欧州委員会によって承認された「Important Project of Common European Interest (IPCEI)」(欧州共通利益重要プロジェクト)の一環です。

BASFの電池材料およびe-モビリティへの取組みについては、以下のWebサイト(英語)をご参照ください。<https://catalysts.basf.com/products-and-industries/battery-materials>

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASFの触媒事業本部について

BASFの触媒事業本部は、環境触媒とプロセス触媒の世界的なリーディング・サプライヤーです。同事業本部は、私たちが呼吸する大気の保護、生活を支える燃料の製造、先進のバッテリー材料などを含む多岐にわたる化学品やプラスチックの効率的な生産を支える技術開発で卓越した専門知識を提供します。BASFの業界をリードする研究開発プラットフォーム、技術開発への情熱、貴金属とベースメタルへの深い知識を活用することで、触媒事業本部は独自のソリューションを開発し、顧客の成功をサポートしています。BASFの触媒事業本部についての詳細は、<http://www.catalysts.basf.com>をご覧ください。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で約122,000人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2018年のBASFの売上高は約630億ユーロでした。BASF株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASFの詳細な情報は、<http://www.basf.com>をご覧ください。

■BASF Schwarzheide GmbHについて

BASF Schwarzheide(シュヴァルツハイデ)GmbHは、ドイツ ラウジッツ地域にあるBASFグループの生産拠点です。ポートフォリオは、ポリウレタン製品およびシステム、作物保護製品、水性塗料、エンジニアリングプラスチック、フォーム、ディスパージョン、Laromerブランドまで多岐にわたります。詳しい情報は、www.basf-schwarzheide.deをご覧ください。